令和８年度　第２回全国健康保険協会沖縄支部評議会議事概要

開　催　日　時	令和８年 10 月 27 日　火曜日　　14：00～16：00
会　　場	全国健康保険協会沖縄支部　会議室
出 席 評 議 員	大木評議員、嘉数評議員、喜屋武評議員、黒島評議員、米須評議員、下地評議員、前田評議員（五十音順）
議　　題	

【審議事項】

（1）令和９年度平均保険料率について

（2）令和９年度都道府県単位保険料率（令和８年度からの持越し分の解消）について

（3）中期戦略プランについて

（4）令和９年度事業計画･保険者機能強化予算の策定にかかる現状評価及び
　　支部戦略プラン（支部健康づくり戦略）について

議　事　概　要
（主な意見等）

＜審議事項＞

【事務局】

（1）令和９年度平均保険料率について

（資料 1-1）、（資料 1-2）、（資料 1-3）に基づき説明。

【事業主代表】

令和８年度の平均保険料率が 9.9%に引き下げられ、大変助かった。今後、料率をより引き下げていくということは難しいかもしれないが、なるべく現在の水準を維持してほしい。

【事業主代表】

私も同様の考えで、現在の水準を長く維持してもらいたい。

【被保険者代表】

平均保険料率 9.9%を維持した場合、10 年以内に赤字となる試算が出ている。国庫補助率の引き上げを求めてほしい。

【事務局】

国庫補助が協会の収支に与える影響は非常に大きい。16.4%の維持、さらには 20%への引き上げについては引き続き求めていきたい。

【学識経験者】
人々の働き方が変わる中で健康保険制度の在り方も考える必要があると感じている。
短時間労働者の適用拡大について、年間 510 億円の負担増とあるが、人数としてはどの程度の規模となる見込みか。

【事務局】
厚生労働省の試算では、賃金要件の撤廃により被保険者 30 万人増・被扶養者 20 万人減、企業規模要件の撤廃により被保険者 105 万人増・被扶養者 20 万人減、5 人以上個人事業所の適用業種の拡大により被保険者 20 万人増・被扶養者 10 万人増となっている。

【被保険者代表】
赤字の健保組合が解散し協会に編入する際には、協会が赤字を引き継ぐことになるのか。

【事務局】
清算を行ったうえで資産も負債も引き継ぐことになる。

【被保険者代表】
平均保険料率は協会が 9.9%、健保組合が 9.32%であるのに対し、被保険者 1 人当たり総報酬額は協会が 418 万円、健保組合が 605 万円と、所得が低い協会加入者のほうが保険料率が高いという点に不公平感を感じる。
健保組合の中で比べると、単一組合のほうが赤字が少なく料率も低いが、単一組合と総合組合の差は何か。

【事務局】
単一で組合を持てる企業のほうが規模が大きく、体力もある傾向にあり、それにより差が生じているものと思われる。

【被保険者代表】
短時間労働者の適用拡大によりこれまで被扶養者だった人が被保険者となり保険料を納めるようになることも考えられるが、協会の収支への影響は具体的にはどのように見込まれるのか。

【事務局】
適用拡大により被保険者となるのは、概して所得が低く、医療費がかかる層であり、収入の増加よりも負担の増加が大きいことが想定される。厚生労働省の試算では、企業規模要件の撤廃により 330 億円の負担増、5 人以上個人事業所の適用業種の拡大により 180 億円の負担増、あわせて年間 510 億円の負担増となる見込みである。

【学識経験者】

準備金残高は医療給付費等に要する費用の 7.2 か月分相当の 6.5 兆円となっているが、協会としては準備金をどこまで積み上げる必要があると考えているのか。また準備金のあるべき水準について検討はされているか。

【事務局】
現時点でどこまで準備金を積み上げればよいという基準は定めていない。必要な準備金の水準については、資料 1-3 で示した 6 つの検討の視点を基に今後も引き続き議論を行っていく。

【被保険者代表】
国庫補助が 3 年間で 1,500 億円減額されるのは積み上がった準備金の影響もあったのではないか。今後、国庫補助率まで引き下げられないように準備金の上限を定めて加入者・事業主に還元するということも検討すべきと考える。

【事務局】
協会の令和 8 年度平均保険料率 0.1%引き下げと国庫補助特例減額の控除額の時限的上乗せ、健保組合への財政支援の 3 施策はセットで行われており、指摘のとおり協会の準備金に対する国の見方は厳しいといえる。

【議長】
それでは、平均保険料率 9.9%の維持及び国庫補助率上限 20%への引き上げを要望するということを沖縄支部評議会の意見とする。

【事務局】
沖縄支部評議会の意見として本部へ報告する。

【事務局】
(2) 令和 9 年度都道府県単位保険料率（令和 8 年度からの持越し分の解消）について
（参考資料 1）に基づき説明。

【学識経験者】
平準化措置の適用により保険料率の算出方法が複雑化し、加入者・事業主へ理解してもらうのが難しくなっていると感じる。

【事務局】
評議会からの意見として本部に伝える。

【学識経験者】

令和９年度の沖縄支部の保険料率は何が原因で引き上げとなる見込みなのか。

【事務局】
令和 8 年度の沖縄支部の保険料率は令和 7 年度からの据え置きで 9.44%となっているが、令和 7 年度においてこの 9.44%というのは全国で最も低い保険料率だった。令和 7 年度の沖縄支部の保険料率は令和 5 年度収支の精算分の反映によって大きく引き下げられており、これはおそらく新型コロナによる医療費抑制の影響が他の都道府県よりも強く出たことに起因している。
現在は、新型コロナによる特異な受診状況が解消したことに加え、インフルエンザの流行等により沖縄支部は医療費の地域差がプラスとなる要素が多い状況にあると考えられる。

【被保険者代表】
保険料率の引き上げは、現役世代の社会保険料負担を軽減するという政府の方向性に逆行しているのではないか。

【学識経験者・事業主代表】
令和９年度の沖縄支部の保険料率が引き上げとなる見込みの中、さらに令和８年度からの持越し分の解消を行うのは現実的でない。

【議長】
それでは、令和９年度の沖縄支部の保険料率が引き上げとなる見込みであるため、令和８年度からの持越し分の解消は行わないということを沖縄支部評議会の意見とする。

【事務局】
沖縄支部評議会の意見として本部へ報告する。

【事務局】
(3) 中期戦略プランについて
（資料 2)、(参考資料 2）に基づき説明。

質疑なし。

【事務局】
(4) 令和９年度事業計画･保険者機能強化予算の策定にかかる現状評価及び支部戦略プラン（支部健康づくり戦略）について
（資料 3-1)、(資料 3-2）に基づき説明

【事業主代表】
循環器系の疾患の医療費が沖縄支部の課題とのことだが、その背景には遺伝的要因以外の要因が存在しているということか。

【事務局】
そのとおり。代表的な循環器系の疾患として高血圧関連の心疾患や脳血管疾患等があげられるが、これは遺伝的な要因があっても早期に発見して適切に治療すればうまくコントロールできる疾患がほとんどである。しかし、沖縄においては重症化して心疾患や脳血管疾患に至り、働き盛り世代が死亡する最大の原因となっている。軽症のうちに適切に医療につなぐ重要性については県医師会とも共有しているところ。

【学識経験者】
アプリを活用して職場の部署対抗のウォーキングイベントを行った健保組合の事例を聞いたことがある。そういった健康づくりのアイデアを事業所に伝える取組も重要だと思う。

【被保険者代表】
全国と比べ外来の受診率が低いのは離島など地理的制約によるものか。それとも受診意識の問題か。

【事務局】
過去に日本医師会が全国で実施した健康に対する意識調査では、沖縄は全国で最も「自身は健康である」と思っている人が多いという結果が出ており、意識の問題はあるのではないかと考えている。離島においては専門医が少なくコントロール不良者が多いといった課題はあるものの、本島と比較したときに受診の傾向にはそれほど差はないことから、予防的な視点で見れば地理的制約の影響よりも意識の問題が大きいのではないかと言われている。

【被保険者代表】
総合工事業や宿泊業、医療業・保健衛生など一部の業態では喫煙率が高いとのことなので、引き続き喫煙対策には注力してもらいたい。
先ほどウォーキングの話が出たが、世界で話題になっているジャパニーズウォーキングなどを健康づくりのために取り入れていくのもいいと思う。

【学識経験者】
けんぽアプリに歩数や血圧が測れたり、食事のカロリーや栄養素を計算できる機能があるといい。無料のアプリも多くリリースされているが、広告が入ってきて使いづらかったり、信頼性の問題もある。無料で安心して健康づくりに活用できるアプリのニーズはあると思う。

【事務局】

協会本部においてアプリの改善検討が行われているが、支部からも意見発信していきたい。

【学識経験者】

沖縄はファストフードやコンビニ食が多いというデータもある。メタボ対策の観点からも医師会などと連携して食習慣の改善にも取り組んでもらえるといい。

【事務局】

新聞の副読本で定期的に当支部の管理栄養士が健康レシピを紹介するコーナーがあるが、読者の反応がいいとの声をいただいている。今後も 5 者協定の関係機関やマスコミとも連携して取組を検討していきたい。

特 記 事 項

・次回は令和 8 年 12 月を予定（予備日）

・令和 8 年 12 月の開催がない場合、次回は令和 9 年 1 月を予定